

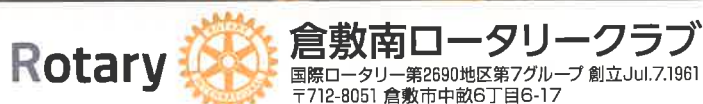


2024-2025年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーのマジック

THE MAGIC OF ROTARY

写真提供: 山本真穂会員



第 2995 例会 R. Song 「奉仕の理想」 天候：晴れ No.2995/2025. 4. 4

Guest なし Visitor ロータリー米山記念奨学生 ファム トゥイ リン様

出席 会員数 61 名（うち出席規定免除者 15 名@1 名@14 名）

4/4 の出席率 68.63%（出席者 35 名、内@5 名）

欠席 安藤、馬場、井上、石本、河原、中川、沼本、滝川、和田（務）、渡辺（英）、
渡辺（清）、山本（英）、山本（勲）、横道、横田、下山、各会員（16 名）

●和田一朗会長

- ・先週 3/28 にお花見を三菱自動車さんのグラウンドをお借りし行いました。素晴らしい天気、準備、美しいさくら、本当に素晴らしい会でした。
- ・この 2 週間で色んな事が起こりました。岩手県大船渡市、岡山南区、愛媛での山火事、ミャンマーでの大地震などです。政治も含め色んな事が起こる世の中です。

●米山記念奨学生ファムトゥイリンさんよりご挨拶（4 月の例会訪問）

- ・今年大学 4 年生で、頑張って単位を取り卒業したく思います。ミャンマーの地震はベトナムも少し揺れましたが、実家にはほとんど影響はありませんでした。日本の岡山は安全な場所で感謝しています。

- 会長の時間：3/16 に第 7 グループのインターシティ・ミーティング(I.M)が倉敷東クラブの主幹で行われ、当クラブからも 20 数名の参加をいただきました。テーマは『大変革時代とロータリー活動』というもので、広島県公立叡啓大学の学部長保井俊之教授に『私たちはなぜ変わらなければならないか、社会の仕組みを前向きに変えるリーダーシップとは』というテーマで講演いただきました。大変革時代に多様化する若者たちの育成、数年後には生成 AI が台頭してくる事、私たちが経験してきた事が全面否定される時代が目の前にある事などをお聞きしました。本当に 4・5 年たつと AI の時代になるそうです。時代の変化に対応していく人作りに励まなければいけないというお話でした。大変有意義な講演でした。

- 幹事報告（青井幹事）：4 月のロータリーレートは 1 ドル 150 円、他来信 17 件。

- 親睦家族委員会(亀岡委員長):4月のお誕生日の方は1名で、柳楽会員です。
- 雑誌記録委員会(中西会員):ロータリーの友4月号記事、防災のTKB48について。日本と諸外国の防災対応の違いは日本は自己責任論が強く武士道の様なものが根付いているという一説があり自助という言葉を使われ、ヨーロッパでは公助が広がっている点が違います。災害は準備する事しかできないというのが実感。
- スマイル報告(佐藤 S. A. A) ※紙面の都合上、内容を一部割愛しております。
 - ・原会員:妻の誕生日に素晴らしいお花を有難うございました。
 - ・土井会員:家内の誕生日にお花を有難うございました。家が華やかになりました。
 - ・横溝会員:妻の誕生日に花束を有難うございました。夫婦円満に努めて参ります。
 - ・山田会員:妻の誕生日に素敵なお花をいただき有難うございました。
- クラブ行動計画推進チーム報告(石田副リーダー):4/3に第4回のオンライン会議がありました。当クラブは3月にチームを作り4月から第一回の会合とアンケートを行う事を報告しました。全体では約半分がチームや委員会を作ったとの事。
- 地区新会員研修セミナー報告(山根会員):先週3/29の新会員セミナーに河原会員と2人で出席しました。他地区の方との交流を深めました。他地区のクラブの活動、例会の様子など非常に参考になりました。
- プログラム卓話 国際奉仕 地区世界社会奉仕活動(DWCS)について

寫田晴彦国際奉仕委員長

- ・先に結論ですが、地区には色んな補助金があります。もっと知ってほしく、もっと楽しんでもらって、もっと使っていただきたいと思います。
- ・2690 地区で国際奉仕活動をどれくらいしているか?という資料があります。69%のクラブが国際奉仕活動をやっています。その中で地区世界社会奉仕基金を利用した事業は34%です。これに関してはもっと利用して欲しいと思います。69%の国際奉仕活動の中には大きくわけて4つあります。1つは発展途上国への支援です。例えば出雲中央 RCさんは古い切手を集めて、そのお金で海外の医療支援を行っています。2つ目はポリオの根絶活動です。3つ目が海外から日本に來られる人達を地元で支援する活動もあります。4つ目が姉妹ロータリークラブとの交流です。出雲中央 RCがコロナの時期に人工呼吸器を2台、タイのバンコクに送ろうとしましたが、1台しか手当てできず、電動式ストレッチャーに替えて支援した例があります。ちなみに倉敷南 RCはこれを活用していません。まだまだ利用できるものが一杯あるという事です。DWCSのPR不足だと言われてますが、ぜひこれを何かの国際奉仕活動のなかで使っていただきたいと思います。

例会プログラム予定:4月11日(金)卓話 イニシエーションスピーチ 渡辺昇 会員/
4月18日(金)次年度に関する卓話「PETS 報告,地区研修・協議会報告」浅見会長エ
レクト・4/13地区研修・協議会に出席された方